

消火器の使い方

使い方をしっかり覚えて、万一のとき正しく使えるようにしておきましょう。

1 安全栓を引き抜く



2 ホースをはずし火元に向けます



3 レバーを強く握ります



火元を確かめて噴射

◆消火

消火器を備え、使い方を覚えておきましょう(上図参照)。

◆避難

危険を感じたらすぐに避難しましょう。避難口は、日頃から二カ所以上決めておくことをお勧めします。マンションなどでは、ペランダの仕切り板や避難はしごの位置を確認し、避難経路となる場所には、普段から物を置かないようにしましょう。また、一度避難した場合は、引き返してはいけません。ハンカチやタオルを鼻と口にあて、姿勢を低くして逃げましょう。

地域みんなでできること！

連携して初期消火を行ったり、放火されない環境をつくらったり、地域で防火に取り組むことは大切です。今回は、山鼻地区で行っている活動についてご紹介します。

7月15日(土)、山鼻町内会連合会(相馬 知会長)が「山鼻地区交通安全・防火・防犯・

清掃の集い」を行い、地域住民約五百人が参加しました。

これは、「集い」を通じて、初期消火・応急処置を訓練することにより防災意識を地域全体で高めようというものです。

また、同地区の取り組みの特徴は、防火のみではなく、交通安全・防犯・清掃と四項目のテーマに対して同時に意

識の向上

を図って

いること

です。

このよ

うな活動

を定期的

に行い、

地域全体で防災意識を高めま

しょう。

♣

▲中央消防団山鼻分団 分団長 齋藤五良さん

中央消防団の活動が表彰されました!

今年で134年の歴史をもつ札幌市中央消防団に、平成18年3月3日(金)に消防団として最高の荣誉である消防庁長官表彰旗が授与されました。

これは、「自分たちの街は、自分たちで守る」という精神のもと、防火思想の普及、消防施設の整備などの活動が認められたものです。

そこで、7月15日に開催した山鼻町内会連合会主催の集い(※)に参加された中央消防団山鼻分団長の齋藤五良さんに、中央消防団の活動などについてお話を伺いました。「消防団員は、他に本業を持ちながら地域安全と安心を守るために活動しています。消防車のサイレンが聞こえたら現場に急行し、被災者の避難誘導、群衆や車両の誘導・整理を行い消防隊の活動を助けています。また、防災訓練などでは、応急処置の方法や消火器の使用方の指導などで防火防災の意識を高めてもらおうと活動しています」。今回の授与については、「たいへん光栄でうれしく思っています。消防団の先輩の皆さんをはじめ、現団員の努力・精進が授与につながったと思います」と話してくれました。



※本文参照



「火」は、私たちの日常生活の上で必要不可欠なものです。私たち一人一人が火の取り扱いに注意し、地域全体でも火災を起こさない環境づくりを目指して、みんなで安全な暮らしを守りましょう。

◆防火・防災に関するお問い合わせは、中央消防署予防課 へ ☎(215)2120